

オープンラボのご案内

「最新、知識創造の世界動向から実践ワークショップまで ～アイデア創発ナイト～」

今年最後のオープンラボは「知識創造」の理論から実践まで、一粒で二度美味しい特別版です。創造性分野でご活躍のお二方をお招きして、ご講演とワークショップという立体構成で、今年一年カタリストBAで行われた創造活動(クリエイティブ)を締めくくります。

前半は、日本創造学会の元会長であり現在は北陸先端科学技術大学院大学の副学長、当コンソーシアムの学会会員でもある國藤進教授より、今秋、海外でご講演されてきたグループ知識創造について教育的側面からお話いただきます。後半は、アイデア創出支援の専門家であり、メソッド開発やワークショップでご活躍のアイデアプラント代表、石井力重氏のファシリテーションによるアイデア出しワークショップです。創造性をテーマにした貴重な機会となりますので、ぜひご参加いただけますと嬉しいです。お申込みは下記、先着順とさせていただきます。

日時 12月19日(月)17:00～20:00 (開場:16:30、終了後懇親会あり)

場所 カタリストBA: 世田谷区玉川2-21-2 二子玉川ライズオフィス8階

定員 50名(先着順とさせていただきます)

概要 17:00-18:15 講演「グループ知識創造教育の世界展開」
北陸先端科学技術大学院大学副学長 國藤進氏
18:30-20:00 アイデア創出体験ワークショップ
ファシリテータ アイデアプラント代表 石井力重氏
20:00～ 懇親会

会費 セミナーは無料、懇親会は2000円

お申込み:URL <http://kokucheese.com/event/index/22586/> 担当:齋藤



講師プロフィール

國藤進 (くにふじ すすむ)

北陸先端科学技術大学院大学副学長。専門は「創造性支援システム」。富士通(株)国際情報社会科学研究所を経て北陸先端技術大学院大学情報科学研究科教授・情報科学センター長、同知識科学研究科教授・知識科学教育研究センター長などを兼任。川喜田理論、野中理論を統合した創造的問題解決プロセス論を提案し、先端科学技術の応用としてアウェアネスやタンジビリティという概念を伝達する発想支援グループウェアの研究開発を行っている。S, BW, KJ法, KT法等の創造工学技法をヒントに発散的思考, 収束的思考, アイデア結晶化の支援機能を持つ発想支援システムや、ユーザが使い易く、考え易いヒューマンインタフェースを持つ知識創造支援環境の構築を目指している。長年の研究成果を実践的にまとめた「発想のプロセス(2008,田中昭文堂)」等がある。日本創造学会、国際担当理事(元会長・理事長)。クリエイティブ・シティ・コンソーシアム学会会員。

石井力重 (いしい りきえ)

アイデアプラント代表、アイデア創出支援の専門家。東北大学大学院・理学研究科修士課程卒業。ブレインストーミングや創造技法の実践と理論の両面に強い興味を持ち、創造工学(Creative Problem Solving, TRIZ)を研究中。(所属学会:日本創造学会)著書に『アイデア・スイッチ 次々と発想を生み出す装置』(日本実業出版、2009年)

Fandroid EASTJAPAN 理事長(東日本大震災の後の仙台・東北のクリエイタに仕事を作る活動)